



# DAIHATSU



2015年6月1日

## ダイハツ軽乗用車「ムーヴ」、軽福祉車「ムーヴ フロントシートリフト」 軽自動車ですべて初めて予防安全性能アセスメント最高評価の JNCAP「先進安全車プラス（ASV+）」を獲得



ムーヴ L“SAII”



先進安全車プラス(ASV+)

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）が開発した「スマートアシストII」を搭載する軽乗用車「ムーヴ」と軽福祉車「ムーヴ フロントシートリフト」が、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA<sup>※1</sup>）が実施する予防安全性能アセスメントにおいて、軽自動車ですべて初めて<sup>※2</sup>最高評価であるJNCAP<sup>※3</sup>「先進安全車プラス（ASV+<sup>※4</sup>）」を獲得した。

ASV+を獲得したムーヴの希望小売価格は1,209,600円<sup>※5</sup>～となっている。

この予防安全性能アセスメントは、安全な車社会へのニーズの高まりと共に、近年、急速に普及が進んでいる「緊急時に自動でブレーキをかける」などの自動車の先進安全技術について、2014年度より評価が開始された。試験内容は衝突被害軽減制動制御装置（AEB<sup>※6</sup>）と車線逸脱警報装置（LDWS<sup>※7</sup>）、後方視界情報提供装置（バックモニター等）の3つの装置についての試験となる。

評価点は46点が満点となっており、日本の事故実態を踏まえて死亡・重傷事故を少なく出来る効果に応じて点数が与えられ、その合計点が2点以上の場合に「先進安全車（ASV）」として認定され、さらに12点以上の場合には「先進安全車プラス（ASV+）」に認定される。

ダイハツの軽乗用車では「スマートアシスト」を搭載している「ミライース」「ウェイク」が「ASV」の認定を受けており、今回の「ASV+」はムーヴが初めての認定となる。ムーヴは、次世代ベストスマールとして先進装備を積極的に採用しており、今後もさらに軽の本流を追求する。

※1：National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid

※2：2015年6月現在。ダイハツ調べ

※3：Japan New Car Assessment Program ※4：Advanced Safety Vehicle +

※5：ムーヴL“SAII” 2WD車。価格は消費税込み。価格にリサイクル料金含まず。

※6：Autonomous Emergency Braking System ※7：Lane Departure Warning System